

平成26年度  
文化芸術関連事業報告書

# 平成26年度文化芸術事業報告書(企画展)

目的	特撮美術監督として日本が世界に誇るミニチュア技術の礎を築いた古賀市薦野の出身の井上泰幸氏の生涯と功績を紹介する。			
日時	平成26年7月18日(金)～8月31日(日)	会場	サンフレアこが ギャラリー	
来場者	5,090人	参加者		
内容	<p>総合監修:三池敏夫(特撮美術監督)</p> <p>展示内容</p> <p>①泰幸氏のおいたち／原点は郷土にあり(医師家庭に生まれた泰幸少年を育んだ郷里古賀の自然と人情)</p> <p>②夫婦の絆／創作活動を共有した芸術家のあゆみ(アルミ彫刻作家の妻と互いを認め支えあった夫婦愛)</p> <p>③作業場再現／ゆるぎない創作活動の源泉(特美仲間や若手技術者が集う感動と喜びをもたらす活動拠点)</p> <p>④井上泰幸氏から生まれたもの／信念の人、井上泰幸の作品世界へようこそ!!(本物の再現にすべてをかけた人生。世界を驚かせた特撮ミニチュア、円谷英二特技監督を支えた映画美術デザイナーの作品世界)</p> <p>◎井上氏及びご家族等の関連写真・資料、製図机等製作関連の遺品、絵コンテ原画・設計図等作品・ジオラマ・造作物等、夫人のアルミ彫刻作品などを展示。</p> <p>入場無料 リーフレット作成(PR、来場者に配布)</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特撮美術の先駆けとして活躍された郷土出身の先人の生涯と功績を紹介できた。</li> <li>・遺族からの遺品の寄贈、展示作品として貴重な設計図原図や絵コンテ原画を提供いただいたことで来場者は作品を直に観覧し、特撮美術の世界をより身近に鑑賞することができた。</li> <li>・新聞各紙、テレビ・ラジオなど多くのマスメディアを通じて情報発信でき、市民はもとより県内外から延べ5,090人の来場を得た。</li> <li>・企画展に合わせて、市民サイドで関連イベント事業実行委員会が組織され、ワークショップやトークショー、映画上映会が催され、市民の力によって盛り上げていただいた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈いただいた遺品の保管と今後の活用方法。</li> <li>・作品展示、映像や音響の取り扱いについては著作権使用料との関連が生じる。今後、同種の事業を行う場合は、より詳細な計画作りが必要と思われる。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
409,259円			1,431,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
賃金	臨時雇		216,000	賃金206,382円、通勤費8,910円
報償費	報償費	企画展謝礼 スタッフ謝礼	250,000	企画展謝礼200,000円 スタッフ謝礼50,000円(1,000円×50人日)
需用費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	198,000	消耗品費120,000円 リーフレット印刷78,000円
役務費	通信運搬費	通信運搬費	11,000	作品搬送11,000円
委託料	その他委託料	企画展委託	756,000	企画展委託756,000円
合計			1,431,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝の再認識 — 行政がおこす — 短期			

平成26年度文化芸術事業報告書(古典文学講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動に関する興味関心を深める</li> <li>・図書館を身近に感じてもらう</li> </ul>			
日時	9月7日(日)、14日(日)、21日(日) 10時10分～12時10分	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	173人	
内容	<p>内 容 百人一首の歌人たちの人生や、藤原家をはじめ貴族・皇室の権力争いなど、その当時の時代背景や歴史の裏側などを講話。</p> <p>講 師 重松 裕巳 氏 (熊本県立大学名誉教授)</p> <p>参加者 第1回 61人 第2回 55人 第3回 57人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その当時の時代背景や歴史の裏側などをわかりやすく話をしていただき、百人一首の奥深さをあらためて知ることができた。</li> <li>・参加者のみなさんからも、楽しく学ぶことができたとの声も寄せられ、古典文学への関心がより深まった。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の固定化がみられるので、より広い周知を行い、幅広い年代、層に参加していただきたい。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
講師謝礼 60,000円 費用弁償 4,920円			65,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	60,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)60,000円
9旅費	01費用弁償		5,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)5,000円
合計			65,000	
備考	古賀市の個性を起こす ― 今ある宝を再認識する ― 行政がおこす ― 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(レファレンスサービス事業)

目的	情報を求めている市民及び図書館利用者に、資料を調査したり相談に応じることで、情報を提供する。			
日時	随時	会場	古賀市立図書館	
来場者		参加者		
内容	図書に関する疑問を調査する。また、疑問に関する資料を提供する＝レファレンス レファレンス対応件数 年間 3,770件 他館からの所蔵調査件数 年間 3,801件 インターネット情報提供件数 年間 562件 コピー対応件数 年間3,026件			
成果	・市民や図書館利用者が求める情報を提供したり、複数の資料を使って調査相談に応じることにより、課題解決を行う手助けのひとつとなり、市民の生涯学習を支援することにつながる。			
課題	・図書館の役割を果たすために図書館の資料や有料データベースを有効活用し、レファレンス事業を継続していく。			
H25年度決算額			H26年予算額	
OA機器使用料 734,580円			757,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
14	02 OA機器使用料	21 新聞記事等検索データベース	584,000	レファレンスサービス事業 584,000円
	02 OA機器使用料	22 法令等検索データベース	173,000	レファレンスサービス事業 173,000円
合計			757,000	
備考	古賀市の個性を起こす ― 今ある宝を再確認する ― 行政がおこす ― 短期			

平成26年度文化芸術事業報告書(学校図書館・公共図書館相互貸借事業)

目的	図書館利用者・市内小中校児童生徒に対し、インターネット横断検索を利用した相互貸借を行うことで、国・県・市の公共図書館の図書資料を有効活用し、必要とされる情報及び資料を提供する。			
日時	随時	会場	古賀市図書館⇄他市図書館	
来場者		参加者		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リクエストカードに要望を書いてもらい、その希望に沿って他市、他県から相互貸借を行う。</li> <li>・学校図書館ネットワーク(e-slip)を活用し、市内小中学校間の利用を円滑に実施する。 年間 1,860冊</li> <li>・国・県・市の公共図書館ネットワークを活用し、相互貸借を行う。 年間 3,289冊</li> </ul>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館に所蔵のない資料を他公共図書館等と貸し借りすることで、限られた予算と図書資料の有効活用ができる。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化社会に対応したインターネットによる相互貸借を活用し利用者の利便性を図る必要がある。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
722,000			172,000	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
14	02 OA機器関係使用料	01 学校図書館ネットワーク使用料	78,000	学校図書館ネットワーク(e-slip)
19	01 負担金		94,000	日本図書館協会・県公共図書館協議会等、 上映許諾サービス利用負担金
合計			172,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事務)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。</li> <li>・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。</li> <li>・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。</li> </ul>			
日時	下記記載	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者			参加者	
内容	<p><b>【粕屋地区美術展】</b>            日時 平成26年11月27日～12月3日 10時～17時            会場 サンレイクかすや            内容 粕屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。            平成26年度で42回目をむかえる。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。            市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p><b>【福岡 I ブロック芸文のつどい】</b>            日時 平成26年11月23日 9時～            会場 福津市文化会館 カメリアホール            内容 粕屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。            平成26年度で22回目をむかえる。毎年古賀市～3団体(10人～20人)が出演する。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回新しく若い2人が出品し、2人とも奨励賞を受賞したことで、今後の創作意欲の向上につながった。</li> <li>・若い出品者に触発され、新たに出品を希望する人が増えた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品者の高齢化が進んでいる。</li> <li>・出品者が減少傾向にある。</li> <li>・若い出品者の開拓が必要である。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
0			120,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	120,000	文化芸術振興事業委託事業(糟屋美術展) 700,000円
合計			120,000	
備考	古賀市の個性を起こす ― 今ある宝を再認識する ― 行政がおこす ― 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成のため、古賀市内の青少年育成団体が集い、子どもたちのイベントを実施することにより、子どもたちに体験の場を設ける。また、企画・運営をとおして、育成団体相互の連携を深め、今後の活動に活かしていく。</li> </ul>			
日時	平成26年11月23日(日) 10:00~15:00	会場	リーパスプラザ、研修棟、市民体育館	
来場者	2,300人	参加者	ステージ発表15団体、体験17団体、 模擬店5団体	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーパスプラザ大ホールでは、オープニングイベント(開会行事及びアトラクション(本年度は玄界古賀太鼓)を開催し、引き続きダンスや演奏等の日頃の成果を披露する子どもたちによるステージ発表。</li> <li>・研修棟と市民体育館では、マジック、工作、車椅子体験、演劇体験などの体験・ものづくりを実施。</li> <li>・中庭では、うどんや焼きそば等の模擬店を出店。</li> <li>・今年度は、ボランティアを募集して、「わくわくクリーン隊」を組織し、子ども達がゴミを回収してくれた。</li> </ul>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の育成に関する団体が集まって、官民共働の事業となっている。</li> <li>・年々参加者は増加傾向にある。</li> <li>・ステージ発表のレベルが上がっており、団体の宣伝にもなっている。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ発表の観客がホールに対して少なく見える。(常時150人以上は座っている)。</li> <li>・内容が固定化しているとの声がある。</li> <li>・気候に左右されるため、準備が難しい。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
198,156円			293,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	運営委員謝礼	120,000	2,000円×12人×5回
11	消耗品費	消耗品費	80,000	事務用品等
11	食糧費	食糧費	9,000	300円×30名(ボランティア用昼食)
11	印刷製本費	印刷製本費	76,000	チラシ 70,000円×1.08税
12	手数料	食品営業許可手数料	8,000	2,400円×3店
合計			293,000	
古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期				

# 平成26年度文化芸術事業報告書(公共施設美術品展示)

目的	市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。			
日時	下記のとおり	会場	古賀市役所 市民ホール	
来場者		参加者		
内容	糟屋美術展、MOA子ども美術展、古賀市子ども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行きかう空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。1ヶ月半ごとに作品を入れ替え、合計9回の絵画の交換を行っている。			
	4月～5月半	古賀竟成館高等学校 デザイン部 生徒作品	第69回福岡県美術展覧会 デザイン部門入選 「郡工具図」	
	5月半～6月末	小林 祥子	糟屋地区美術展 糟屋地区議長協議会賞 「与謝野晶子・歌」	
	7月～8月半	宮田 昌子	糟屋地区美術展 西日本新聞社賞 「プールサイド」	
	8月半～9月末	小早川 紗智子	MOA美術館福岡児童作品展 金賞 「虫とひまわり」	
	10月～11月半	浅川 武夫	糟屋地区美術展 糟屋地区市町長協議会賞 「綿津見神社(三苦)式年遷宮」	
	11月半～12月末	岩崎 房子	糟屋地区美術展 福岡県美術協会賞 「横たわる木」	
	1月～1月末	白川 久美子	糟屋地区美術展 糟屋地区社会教育振興会賞 「天使の住む花園」	
	2月～2月末	柴田 美知枝	糟屋地区美術展 奨励賞 「日向岬の朝」	
	3月～3月末	花見小学校 緒方 滉介 青柳小学校 西園 咲空 古賀北中学校 倉田 奈々花	古賀市こども美術展 市長賞 3点	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度または今年度にすばらしい成績を残された方の作品を1ヶ月ごとに展示することで、来場する人に飽くことなく優秀な作品を鑑賞してもらえた。</li> <li>・わざわざ作品を見るために、市役所を訪れる人もいた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示場所が、紫外線が入る場所なのでどうにか対策をする必要がある。</li> <li>・盗難防止策が何もなされていない。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,158,000円		100,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11需用費	1消耗品	1消耗品	100,000	キャプション用プレート費用
合計			100,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(文化教養向上事業)

目的	文化活動をとおり、参加した市民同士の交流の場・コミュニケーション場作り			
日時	通年	会場	鹿部集会所 ・ 高田教育集会所	
来場者	市民	参加者	会場近隣市民	
内容	<p>生花・民舞・パソコン等の各種文化教室を実施する。</p> <p>生花:1教室 パソコン:1教室 民舞:2教室</p> <p>各教室月2回開催。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動を通し、地域住民の交流およびコミュニケーションの場を作ることができた</li> <li>・住民相互の人権についての理解・認識ができる場を作ることができつつある。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の一つ一つが、交流の場となっているものの、受講者が、講座等を開催したり、活動を進めていく人材にはなっていない。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
480,000		480,000		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
08 報償費	02 講師謝礼	01 講師謝礼	480,000	文化教養向上事業 (地域人権福祉教室)480,000円
合計			480,000	
備考	<p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期</p> <p style="text-align: center;">眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期</p>			

平成26年度文化芸術事業報告書(地域の魅力発見講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での文化芸術活動の活性化をめざし、公民館や新たな活動場所を開拓する。</li> <li>・文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用する。</li> <li>・古賀市が誇る文化芸術に関する知識、技能、能力を後世に引き継ぐため、発信、伝承、還元する機会の提供と共に、子どもから大人まで幅広い世代の地域に文化芸術活動を推進する人材を掘り起こし、育成する。</li> </ul>			
日時	9月12日(金) 13時30分～16時 10月24日(金) 13時30分～16時 11月12日(水) 12時～15時	会場	第1回 古賀北区公民館 第2回 薬王寺区公民館 第3回 舞の里5区集会所	
来場者	参加者		第1回 8人、第2回 18人、第3回 9人	
内容	①地域で活躍している方を講師とする。 ②講師の先生が活動している地域の公民館を使うことで、市民に地域の公民館に親しんでもらい、新たな活動場所として開拓する。 ③公民館内だけで講座をするのではなく、地域を歩き回ること、地域の魅力を再発見してもらう。 定員 先着20名 その他 会場までは市のバスで向かう。駐車場が少ないため、歩きたまたは自転車のみ現地集合を許可。			
	9月12日(金) 古賀西校区	オリジナル コースターづくり  講師:トビオ氏	①バス移動	リーパスプラザ集合
			②講師あいさつ・紹介	職場体験の中学生も講師側として参加
			③作成方法の説明	講師が作成した作り方をもとに説明
			④下地作成	ボンドを熱で溶かし、それを好きな型に伸ばす
			⑤材料拾い	海岸まで歩いていき、貝殻、石、木、草花を拾う
			⑥仕上げ	装飾を終えたら、上からボンドで蓋をし、終了
	10月24日(金) 小野校区	カメラのプロが 教える楽しい 写真講座  講師:小河 修次氏	①バス移動	リーパスプラザ集合
			②講師説明	講座の流れを説明
			③講義	講師作成の資料をもとに、写真について講義
			④地域探索・撮影	地元民ならではの場所をめぐって撮影方法の解説
			⑤まとめ	アンケートの記載等
11月12日(水) 舞の里校区	水彩はがき絵づくり  講師:栄村 ひと恵氏	①バス移動	リーパスプラザ集合	
		②講座説明	講座の流れを説明	
		③材料拾い	近くの公園で落ち葉や木の実などを拾う	
		④はがき絵作成	水彩絵の具で様々なものをスケッチ	
		⑤まとめ	アンケートの記載等	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて地域を回ること、「古賀に住んでいて初めて知った」「普段、何気なく通っている道なのに見方を変えるだけで全然違う風景に見える」など改めて地域の魅力を発見してもらうことが出来た。</li> <li>・「帰って復習します」や「本格的に始めてみたい」との意見があった。講座内容を家庭でも出来る簡単なものにしたことで、1回きりで終わるのではなく、次につながっている様子が伺えた。</li> <li>・「いい先生に巡り合えた。古賀にこんな方がいたなんて」との声があった。地元で活躍している方を講師とすることで、講師と受講者がつながりやすく、継続的につながりが持てる。</li> <li>・「初めて講座というものに参加した。教えていただくことが多く、勉強になった。また企画してほしい」との意見があった。需要が高い講座をすることで、新しい人材の発掘を行えることが伺えた。</li> <li>・他校区の受講者から「他校区の公民館のことや習い事のことなどなかなか知る機会がない。貴重な体験だった」との意見があった。公民館を活用することで、新たな活用場所を開拓すると共に、地元の人しか知らない情報等を広く市民に伝えることが出来た。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスで会場に向かったが、連絡なく車で会場まで来られる受講者がいた。また、来ていない受講者に連絡は入れたが、繋がらない場合もあった。交通手段の変更、欠席等の連絡は必ずするよう徹底する。</li> <li>・需要が高い講座は、希望者が殺到し、定員に達した後も申し込みが相次いだ。キャンセル待ち等を行ってほしいとの意見もあったので、今後検討していく。</li> <li>・申し込みが3講座とも同じ時期なので、最後のほうの講座は申し込みから数ヶ月後に実施ということになり、忘れてたり、予定をいれてしまったという受講生が相次いだ。電話での事前連絡をし、確認をしていく。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
274,000円			117,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	50,000	講師謝礼 2,500円×10回×2人
			40,000	会場費 1,000円×8回×5時間
			16,000	空調機使用料 400円×8回×5時間
11需用費	4印刷製本費	1	46,000	印刷製本費 46,000円
合計			152,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

目的	社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことへの意欲が高まっています。人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を目指し、「市民が主体となって相互に学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続ける人が育つまちづくり、仲間作りに貢献すること」を目的に開催します。		
日時	4月8日(木)～12月25日(木)	会場	リーパスプラザ 大会議室、研修棟 他
来場者		参加者	1041人
内容	◎講演会		
	①日時	5月8日(木) 10時～12時	
	内容	「脳のリラクゼーションの体感 ～ジャズの効用～」	受講生 103人
	講師	ジャズシンガー ムーサ・ミュキ	
	②日時	7月3日(木) 10時～12時	
	内容	「取材現場から見た 黒田官兵衛」	受講生 33人
	講師	西日本新聞社都市圏総務デスク 萩原昭雄	
	③日時	9月18日(木)10時～12時	
	内容	「落語を聞こう ～笑いで始まる学びの舎～」	受講生 89人
	講師	宗像落語会 粗忽家酔書	
④日時	10月2日(木) 10時～12時		
内容	「税金について ～消費税と相続税～」	受講生 51人	
講師	香椎税務署 消費税、相続税担当者		
◎体験講座 前期期間 5月～8月			
⑤講座名	「バレエストレッチ」		
日時	6月19日(木) 10時～12時		受講生 18人
内容	バレエの動きを取り入れたストレッチを学びます。		
講師	ユカリクラシックバレエ 光永祐香里		
⑥講座名	「エコクラフトでミニかご作り」		
日時	6月24日(火) 10時～12時		受講生 20人
内容	エコクラフトでミニかごを作ります。		
講師	コスモススタッフ 中菌真紀子		
⑦講座名	「黒田節を唄う」		
日時	7月2日(水) 10時～12時		受講生 10人
内容	大河ドラマで活躍中の黒田25騎の一人「母里友信」の逸話と黒田節を唄います。		
講師	日本民謡「大久保会」 大久保宗人		
⑧講座名	「こけ玉作り」		
日時	7月16日(水) 10時～12時		受講生 32人
内容	オリジナルの苔玉を作ります。		
講師	古賀市緑のまちづくりの会 青崎安孝		
⑨講座名	「暮らしに彩りを」		
日時	7月23日(水) 10時～12時		受講生 14人
内容	布と和紙、お花、器を組み合わせて玄関やテーブルのコーディネートを学びます。		
講師	茶寮Kunpu 佐々木洋子		
⑩講座名	「自分で着つける浴衣」		
日時	7月26日(土) 19時～21時		受講生 17人
内容	浴衣を自分で着つけられるようになるまで学びます。		
講師	着物着付研究科 講師 杉山淑子		

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

内容	◎体験講座 後期期間 9月～12月		
	①講座名 「古賀史発見」	1回目 9/26 2回目 10/9 3回目 11/13 10時～12時 全3回	
	日時	1回目 青柳地区(色姫の墓、青面金剛像、五所八幡宮 他)	受講生 22人
	内容	2回目 谷山・小山田地区(谷山神社、小山田斎宮、十三仏板碑 他)	
	講師	3回目 薦野・清滝地区(清瀧寺、仕掛け水、養徳山、天降神社 他)	
	講師	コスモススタッフ 矢野政昭さん	
	②講座名 「笑顔を届ける歌声」	1回目 9/30 2回目 10/21 3回目 11/11 10時～12時 全3回	
	日時	1回目 あこがれのデュエット曲 2回目 秋の歌を歌おう 3回目 クリスマスソング	受講生 36人
	内容	(株)アルカディア 井上祐子さん	
	講師		
	③講座名 「喜楽に洋食を」	1回目 9/26 2回目 10/23日 3回目 11/27日 10時～12時 全3回	
	日時	1回目 角煮まん風、梨と柿のサラダ他 2回目 スープスパゲッティ、抹茶プリン 他	受講生 20人
	内容	3回目 揚げ飯・牡蠣の雑炊、秋野菜のグリル焼き 他	
	講師	管理栄養士 江頭みゆきさん	
	④講座名 「おやじの見せ所」	1回目 9/24 2回目 10/15 3回目 11/19 10時～12時 全3回	
	日時	1回目 交流料理 2回目 野外調理 3回目 鍋料理	受講生 15人
	内容	講師 コスモススタッフ 荒牧絹世	
講師			
⑤講座名 「大人の寺子屋」	1回目 10/10 2回目 11/17 3回目 1/14 10時～11時 全3回		
日時	中学校で中学校教科を中学校教諭から習う	受講生 8人	
内容	1回目 社会 2回目 体育 3回目 音楽(琴の演奏)		
講師	古賀中学校の担当教諭		
⑥講座名 「歌から入る楽しい英語」	10月1日(水) 10時～12時		
日時	カーペンターズの曲を歌いながら、英語の初級を学ぶ	受講生 22人	
内容	講師 J-SHINE所属 橋 由香さん		
講師			
⑦講座名 「日本のおもてなし」	10月8日(水) 10時～12時		
日時	心づかいの文化(礼法、優雅な立ち居振る舞い、懐紙の折り方、感謝の表わし方等)	受講生 14人	
内容	講師 にしむらきもの学院・礼法教室 主宰 西村多美子さん		
講師			
⑧講座名 「プロのパティシエールに学ぶチョコレートケーキ」	10月14日(火) 10時～13時		
日時	パティシエールにプロが作るチョコレートケーキを学びます	受講生 19人	
内容	講師 SweetLand 0503 パティシエール 安松裕子		
講師			
⑨講座名 「ジャズを歌おう」	10月16日(木) 13時～15時		
日時	プロのジャズシンガーからジャズの名曲を習います。	受講生 18人	
内容	講師 ジャズシンガー ムーサ・ミュキ		
講師			
⑩講座名 「フラッシュモブダンスでKOGAおこし」	1回目 10月25日(土) 10時～12時 2回目 11月15日(土) 10時～12時		
日時	フラッシュモブダンスで古賀に活気を起こそう。	受講生 19人	
内容			
講師			
⑪講座名 「筆ペンの達人」	11月5日(水) 10時～12時		
日時	筆ペンで年賀状の書き方を学びます	受講生 31人	
内容			
講師			
⑫講座名 「自分で出来るリンパマッサージ」	11月7日(金) 10時～12時		
日時	自分の顔を中心に自分でリンパマッサージができるように初級コースを学びます。	受講生 38人	
内容	講師 リンパトリートメントアソシエイツボラボラリンパの会 伊規須 香奈枝		
講師			
⑬講座名 「きり絵を楽しむ」	11月14日(金) 10時～12時		
日時	紙とカッターで切り絵を習います。	受講生 12人	
内容	講師 内田 隆		
講師			
⑭講座名 「暮らしに彩りを」	11月18日(火) 10時～12時		
日時	多肉植物を使ってのテーブルコーディネートを学びます。	受講生 15人	
内容	講師 茶寮 Kunpu 佐々木洋子		
講師			
⑮講座名 「もっと知りたい終活」	11月20日(木) 10時～12時		
日時	エンディングノートの書き方、悔いを残さないための自分の思いを伝える	受講生 35人	
内容	講師 一般社団法人終活普及協会 寺田良平		
講師			
⑯講座名 「紙芝居を読んでみよう」	1回目10月3日(金) 2回目11月7日(金) 3回目12月5日(金) 全3回 10時～12時		
日時	紙芝居の歴史、読み方の実技、発生練習 等を学びます。	受講生 7人	
内容	講師 古賀市紙芝居サークル「カチカチ会」代表 相戸 孝敏		
講師			
⑰講座名 「親子で絵画教室」	10月26日(日) 10時～12時		
日時	親子一緒に絵を画きましょう	受講生 7家族	
内容	講師 中村学園大学 非常勤講師 中野隆二		
講師			

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

成果	<p>・「はじめてのチャレンジ」で新しい講座内容が増えたのと、回数的に入りやすい回数だったのか新しい受講生が増えました。受講された方からは、今後も同じ内容で続けてほしいとのコメントが多くありました。また、通年コースの4コースはマンネリ化ではあるが、参加希望が多く、受講生を集めることが出来る(課題でもあるが、成果でもある)</p>			
課題	<p>・「講演会」の参加については少なくなってきていましたので、講師の選択を今までにない「ジャズ」や税金のお話などを取り入れた結果、少し増加しましたのでニーズに応じた内容、人気の講師だと参加者が増えると確認できました。次年度は再度内容と講師と時代に応じた企画を考えたいとおもいます。</p>			
H25年度決算額		H26年予算額		
247,000円		380,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2 講師謝礼	1 講師謝礼	380,000	地域教育力向上事業(コスモス市民講座事業)
合計			380,000	
備考	<p>古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期                  古賀市の新しい魅力に興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期                  環境づくり — 行政がおこす — 長期                  誇りをおこす — 行政がおこす</p>			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(芸術祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</li> <li>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</li> </ul>			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザ大ホール サンフレアこがギャラリー	
来場者	2148人	参加者	芸能 61人 芸術 78人	
内容	内容			
	古賀市で活動している師範クラスの芸術家の舞台発表や、特別ゲストとしてプロの演奏家を招いた、グレードの高い芸術・芸能の発表会。			
	5月18日(日) 10時～	芸術祭 (舞台芸能)	1476人	プロおよび師匠クラスの舞台発表
5月16日(金) ～18日(日) 10時～17時	芸術祭 (芸術)	672人	師匠クラスの作品展示	
成果	<p><b>【芸能部門】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出演団体等の意見を参考にして、プログラム作成やリハーサルが出来た。</li> <li>・延べ1,500人の来場者があり、アンケート結果においても年々質が向上しているとの意見が多かった。</li> <li>・出演者、司会者、業者、スタッフの連携がうまくいき、トラブルなく終わることが出来た。</li> <li>・会場スタッフの指導もあってか、来場者のマナーも年々よくなってきている。</li> </ul> <p><b>【芸術部門】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去のアンケート結果や、反省を踏まえレイアウトを工夫し、展物館の距離を広くし、見やすくなった。</li> <li>・天井照明だけでなく、スポット照明も使用したため、遠近感と明るさが出た。</li> </ul>			
課題	<p><b>【芸能部門】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の来場者は多いが、演目ごとの観客数は少ない。</li> <li>→特に、開演時と終演時の観客が少なく、広報活動あるいはその他の方策により、来場者数を増やす努力が必要である。</li> <li>・年々来場者のマナーは向上しつつあるが、それでも演技中に移動する来場者や私語をする来場者がいる。</li> <li>→声かけなどを続け、更なるマナーアップに努める必要がある。</li> </ul> <p><b>【芸術部門】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入時間の変更が必要。</li> <li>→前日までに展示パネル設営を完了し、設営時間を短縮することで、搬入者の待ちを解消できる。</li> <li>・出展者や出演者の高齢化や、出展数の減少傾向がみられる。</li> <li>・来場者は増加傾向にあるが、芸能部門に対し少ない。</li> <li>→広い周知を行い、来場者を増やす努力が必要。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
750,000円		700,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	700,000	文化芸術振興事業委託事業(芸術祭) 700,000円
合計			700,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(文化祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。</li> <li>・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。</li> </ul>				
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザ 大ホール サンフレアこが ギャラリー	
来場者	芸能 芸術	2,361人 619人	参加者	芸能 46団体 芸術 147点(内花鶴小学校児童 15点 特別支援学校児童・生徒 21点)	
	分野	日時	来場者	出演者	
内容	芸能 10時 ～ 17時	11日(土)	975人	古賀キッズプラス、元気組、ゆかいななかまたち、クロスパル古賀和太鼓教室、Lady、古賀市市民劇団DAICOON、ユカリクラシックバレエ、啓峰吟詠会古賀第二支部、吉住歌謡教室、女声コーラスコールウイング、古賀マンドリンクラブ、ねじめの会民謡、みさカラオケ教室、三千久賀会、ねじめの会三味線、サンフレッシュダンス、玄海一座、女声コーラスアマビレ	
		12日(日)	843人	アンサンブルポピー、Myジャズダンス、吉住歌謡教室、茂寿の会、日本民謡大久保会、みさカラオケ教室、扇菊会、あすかダンススクール、Halau Hula O Hana Aloha、岡はちとゆかいな仲間たち、舞オカリナ教室、絃楽・たのしみ三味線、にこにこジャズダンス、箏曲系の会、古賀市相撲甚句会、寿駒会、絃楽・津軽三味線、ボランティアフリーバンドブルーファンタジア	
		H27年1月 18日(日)	543人	福岡ヨーガ道友会、サンフレッシュダンス、みさカラオケ教室、古賀市市民劇団DAICOON、吉住歌謡教室、古賀三線島唄会、ばらの会、日本歌謡連盟、茂寿の会、高風民謡会、安来節保存会、ユカリクラシックバレエ、松富士会、ハラウフラオ マカナアロハ、古賀市半面会	
	芸術 10時 ～ 17時	11日(土)	340人	洋画 6点(洋画の会)、日本画 11点(蒼墨同好会、日本画教室「藍」古賀教室)、書 64点(川口書道教室、さざなみ会、一五会、愉の筆)、陶芸 57点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会)、写真 8点(写団こが)、工芸 12点(美智子押し花サロン、押し花幸葉、真友の会、竹友会)、文芸 6点(しきなみ短歌会)、特別展 36点(花鶴小学校、古賀特別支援学校)、茶道 1席(翠芳会)、華道 12点(池坊の会、小原流瑞穂の会)、園芸 3点(古賀市花卉盆栽同好会)	
12日(日)		279人			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な演目を披露することで、幅広い層に親しまれ、「私も何かやりたくなりました」との意見もあった。</li> <li>・今年度より子どもたちの作品を展示したが、とても好評だった。</li> <li>・介護支援課の外出促進事業とコラボしたが、2日間で600人を超え、予想人数を大幅に上回った。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布した進行表より50分早く終わってしまったため、苦情が出た。また、幕間のロスタイムを撮りすぎ、緞帳を下ろさずに暗転が多かった。</li> <li>・申し込み時の申請時間との誤差が大ききところがあった。特に、カラオケの演目時間の見込みが大きく違ったので、今後は他の団体と同様に、カラオケ教室にも1曲ずつの時間を申請してもらう。</li> <li>→正確な演目時間の申請と、変更時には連絡をもらう。芸術祭・文化祭の違いを認識し、ロスタイムを見直す。また、進行表は早くに公表しない。</li> <li>プログラムの校正ミスが目立った。また、配布方法を事前に決めておらず、少しバタバタした。</li> <li>→プログラム編集委員を決め、公正のやり方を見直す。</li> <li>・スタッフの中に、その日に出演する者がいたため、時間的に人数不足の持ち場があった。</li> <li>→出来る限りスタッフの出演日を把握し、役割振りをする。</li> </ul>				
H25年度決算額			H26年予算額		
750,000円			800,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	800,000	文化芸術振興事業委託事業(文化祭) 800,000円	
合計			800,000		
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期				

# 平成26年度文化芸術事業報告書(童謡まつり)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力を幅広い世代に伝える。</li> <li>・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。</li> </ul>			
日時	下記詳細	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	5,346人(出演者含む)	参加者	1,260人(出演者)	
内容	H26年10月	広報こがに出演者募集を掲載		
	31日(金)	出演者募集広告掲示開始		
	11月18日(火)	出演者申込開始		
	12月5日(金)	出演者申込終了		
	1月21日(水)～	古賀竟成館高等学校背景画作成		
	2月5日(木)	出演代表者会議(大会議室にて19:00開始予定)		
	2月15日(日)	コンクール個人レッスン		
	2月19日(木)	舞台看板・ひな壇・背景画設営		
	20日(金)	個別リハーサル		
	21日(土)	通しリハーサル(本番どおりに行う)		
	22日(日)	第25回古賀市童謡まつり本番		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演総数1,260人の3歳～90歳の元気な方々が参加された。</li> <li>・非常に参加希望が多く、枠を増やした。</li> <li>・参加する園児たちが危なくないように、ひな壇にスロープを設置するなど、安全の配慮も十分であった。</li> <li>・竟成館の美術部のバックボードは、非常に好評だった。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は雨であったが、雨袋の配布等が行えなかった。</li> <li>・駐車場の不足。</li> <li>・プログラムの当日用が不足気味であった。</li> <li>・受付は、プログラムの配布、食券の販売、入場者数のカウントなど仕事が多く、雨が降ったのでモップがけなどの仕事まで加算された。受付人員の増加が必要であると感じた。</li> <li>・スタッフ同士の連携のさらなる強化。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,500,000円		1,330,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	1,330,000	文化芸術振興事業委託事業(童謡まつり) 1,330,000円
合計			1,330,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(サロンコンサート)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図る。</li> <li>・文化芸術に関する情報を収集・提供し、意見交換や交流が出来る場を作り、ネットワーク形成を支援する。</li> <li>・生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。</li> </ul>			
日時	下記詳細	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	1,092人	参加者		
内容	カフェで聞くように、気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が気軽に交流できるサロンコンサート。 文化協会会員及び公募により出演者を決定する。			
	5月17日(土)	薫風を感じて	145人	絃楽津軽三味線 中野恭子(みんなで歌おう)
	6月28日(土)	梅雨空を吹き飛ばそう!	102人	古賀三線島唄会
	7月19日(土)	夏を楽しもう	198人	岡はちとゆかいななかまたち Hana ALOHA
	9月20日(土)	静かな秋	87人	舞オカリナ教室・芳賀史江
	10月25日(土)	灯火親しむ秋	78人	飯尾助広(ギター弾き語り) ミュージカルオペラk.i
	11月15日(土)	陽だまり恋し	113人	舞の里おやじバンド 古賀ハーモニカ同好会
	12月13日(土)	ジングルベルを聴きながら	62人	ゆいハンドベルサークル ブルーファンタジア
	1月24日(土)	新春を寿ぐ	102人	涛の会(琴)・宗希会(薄茶)
	2月28日(土)	梅の香りに誘われて	130人	日本民謡大久保会 茂寿の会(日舞)
	3月14日(土)	春の足音	75人	香雲堂吟詠桜峰会 女声コーラスコールウイング
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートより、「身近に感じてした親しみが湧き、すばらしかった」「演奏者の熱意が伝わり、よく理解できた」など小規模の生のコンサートならではの評価が伺えた。</li> <li>・外周促進事業の効果を大きく感じた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場が二階の場合、足が不自由な方が入場できない場面があり、双方とも残念な思いをした。</li> <li>・小規模コンサートに適した会場がなく、音響の問題、部屋の広さの問題、出演者の移動の問題など、現時点の会場では多くの不満が残る形となった。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
276,000円			250,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	250,000	文化芸術振興事業委託事業 (サロンコンサート) 250,000円
合計			250,000	
備考	古賀市の個性を起こす誇りをおこす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(こども美術展)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもたちの作品にふれる機会を提供する。</li> <li>・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。</li> </ul>			
日時	下記詳細	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	1, 268名	参加者		
内容	6月上旬	第1回実行委員会		
		作品募集のチラシの作成		
	6月下旬	校長会にて趣旨説明		
		教頭会にて趣旨説明		
	7月上旬	募集要綱配布		
	9月1日(月)	作品募集開始		
	9月中旬	各学校へ進捗状況ヒアリング		
	11月28日(金)	作品申込締切り		
	12月	作品審査会開催		
	12月下旬～1月上旬	受賞作品当番作成依頼		
		賞状印鑑申請		
		副賞の図書券配布		
		入賞者への審査結果通知		
	1月中	作品展示準備		
	1月末	プログラム校正開始		
		第2回実行委員会		
	2月上旬～中旬	プログラム校正終了、印刷所へ回す		
	2月19日	作品搬入、プログラム完成		
	20日～22日	展示		
	23日	搬出		
3月	第3回実行委員会			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援課の外出促進事業のブースを設けたことで、来場者が例年に比べて増加した。</li> <li>・1日目約100名、2日目約300名、3日目868名と、1日目と2日目の合計の2倍以上が3日目に来ている。3日目だけが童謡まつりとの同日開催なので、童謡まつりから来場者が子ども美術展へと流れてくるいいルートができていいることがわかる。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画の中学校部門においては受賞作なし。もう少しレベルUPが必要。</li> <li>・作品展示の高さを子どもの目線にしたほうがいい(20センチほど下げる)</li> <li>・書の作品展示ではしわが目立つので、今後対策を行っていきたい。</li> <li>・表彰式での返事がなかったり、声が小さく、事前指導が必要。</li> <li>・各学校へ作品返却後、子どもたちへの作品返却が遅い学校があった。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
100, 000円		270, 000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	270,000	文化芸術振興事業委託事業(こども美術展) 270,000円
合計			270,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(地域人権啓発事業)

目的	人権課題を主軸にした、事業を企画・実施し参加する市民に対し啓発を行う。			
日時	下記	会場	隣保館、高田教育集会所、鹿部集会所	
来場者	市民	参加者	市民	
内容	<p>【人権体験活動】</p> <p>①じんけん平和教室          対象:市内全小学生          開催期間:夏休み期間中5日間          内容:大刀洗飛行場、8月9日長崎フィールドワークを中心とし事前事後学習</p> <p>【異文化教室】</p> <p>①ひだまりパスポート          対象:市内全小学生          開催期間:9月～2月の間の5日間          内容:古賀市近隣市町村に住む留学生を講師に迎え、文化などの違いを感じる学習</p> <p>②韓国文化講座          対象:市内在住または勤務地を有する高校生以上の全市民          開催期間:9月～3月までの間の計21回          内容:韓国語を通し、韓国文化や過去現在の社会情勢などを含めた学習。また平成26年度より、韓国と日本の文化交流等が学習できる地域へのフィールドワークを実施。</p> <p>【地域交流促進講座】</p> <p>①生き生き音楽校          対象:会場近隣市民          開催期間:6月～3月までの間の計20回          内容:音楽:合唱・合奏・聴くことを通し、地域交流や介護予防などにつなげる。</p> <p>②ひだまり館まつり          対象:市          開催期間:年1回          内容:隣保館で行う事業などの成果の発表や、館内人権啓発パネル等による啓発</p>			
成果	<p>【人権体験活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した小学生一人ひとりが、戦争の悲惨さや平和の尊さを認識することで、自分や自分の周囲の人(友だちや保護者)の大切さを学んでいた。</li> </ul> <p>【異文化教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひだまりパスポートでは、留学生の方が、母国と日本の文化の違いや、それにより困ったことなどを子どもたちが認識することで、相手を思いやる気持ちを育むことができた。</li> <li>・韓国文化講座では、韓国語を学ぶことだけにとどまらず、日本と韓国の文化の違いを知ることで、違いを認識し、理解を深める姿が見受けられた。</li> </ul> <p>【地域交流促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生き音楽校は、参加する市民の交流の場として、広がってきている。</li> <li>・ひだまり館まつりでは日頃来館されない市民の方の来館があり、人権啓発等自然な感じできている。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に参加しても、活動を広げようとする市民の方が少ないので、情報を発信し、広げていく手立てを考えていく。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
3,084,914		2,790,000		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
			452,680	地域人権活動
			543,660	異文化教室
			1,793,660	地域交流促進事業
合計			2,790,000	
備考	<p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期          古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期</p>			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(アート・バス)

目的	・小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。			
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザ 大ホール
来場者	72名		参加者	下記のとおり
内容	古賀市内の小・中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。			
	5月24日(土)	古賀中学校	福岡市美術館 「常設展」「法隆寺展」	生徒 4人 学生ボランティア 3人 コーディネーター 市職員 2人
	6月21日(土)	古賀東中学校	福岡市美術館 「常設展」「日展」	生徒 15人 学生ボランティア 4人 教諭 1人 コーディネーター 市職員 2人
	10月26日(日)	古賀東小学校 古賀西小学校 花鶴小学校	福岡県立美術館 「TOTTOTOTO? KIROKU×KIOKU＝」	児童 19人 学生ボランティア 3人 コーディネーター 市職員 1人
	11月29日(土)	花見小学校 千鳥小学校 舞の里小学校	福岡県立美術館 「開館30周年記念 コレクション展 連続企画2014-15 第1弾 特集 「福岡の近代洋画」	児童 16人 学生ボランティア 2人 コーディネーター 市職員 2人
	3月7日(土)	青柳小学校 小野小学校	福岡市美術館 「古川吉重 1921- 2008」「第50回福岡教 育大学美術教育講座 (美術)卒業制作展」	児童 18人 保護者 3名 市職員 2人 学生ボランティア 5人 コーディネーター
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数は多くないが、参加した子どもたちの満足度は高く、非常に楽しそうに参加していた。</li> <li>・作品をただ鑑賞するだけでなく、作品について説明したり、お互いに語り合うことで作品をいろいろな視点から見る方法を学んでもらえた。</li> <li>・最後は親子で実施したが、大変好評で、親子アート・バスの実施のいい検討材料になった。</li> <li>・新規ボランティアが増えた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者人数の停滞が見られる。先生に働きかけたり、校内放送をしてもらったりしたが、それでもやはり増える見込みがなかったので、今後、新しいやり方も試していきながら、事業の周知に努めたい。</li> <li>・親子アート・バスを実施するなら、ボランティアの役割と親を巻き込むプログラム作りが必要。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
98,750円			204,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	21スタッフ謝礼	50,000	スタッフ謝礼 1,000円×5回×10人
14使用料 及び 賃借料	1使用料	21美術館等入場料	78,000	美術館入館料 1,200円×5回×13人
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	6,200	有料道路使用料 620円×5回×2台
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	8,000	駐車場利用料 200円×5回×2台×4時間
合計			142,200	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(青少年音楽活動支援事業)

目的	・平成2年に開催された「とびうめ国体」を契機に誕生した「小野小学校マーチング・バンド」を前身に、古賀市内の小学生を対象として音楽に親しめる環境を提供する「古賀キッズプラス」を支援する。			
日時	毎週月・木曜日		会場	小野小せんだんホール(練習)
来場者	—		参加者	小学生11名
内容	10月11日(土)	古賀市文化祭 (リーパスプラザ)		
	10月19日(日)	古賀市健康福祉まつり (サンコスモ古賀)		
	11月1日(土)	西っ子まつり (古賀西小学校)		
	11月9日(日)	野幸山幸おのまつり (小野小学校)		
	11月23日(日)	古賀市わくわくフェスタ (リーパスプラザ)		
	1月17日(土)	九州小学校管楽器交歓演奏会 (福岡サンパレス)		
	1月31日(土)	福岡県小学校管楽器演奏会 (福岡市民会館)		
	2月8日(日)	スチューデント・ジャズフェスティバル (西市民センター)		
	3月22日(日)	第12回 定期演奏会 (千鳥苑)		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的にあるように小学生が音楽に親しめる環境を提供できている。</li> <li>・日頃の練習の成果を市のイベント等で披露してもらい、彩りを添える。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部員の確保が難しくなっている。</li> <li>・指導者が1名のため、練習回数が確保しにくい。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
583,198円		639,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	指導員謝礼	70,000	1,000円×70時間
11	消耗品費	消耗品費	61,000	事務用品等
11	印刷製本費	印刷製本費	80,000	プログラム印刷費79,800円
11	物品等修繕料	物品等修繕料	204,000	楽器修理代
8	車借上料	車借上料	224,000	移動用バス借り上げ
合計			639,000	
古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期				

# 平成26年度文化芸術事業報告書(青少年活動推進事業)

目的	・土曜日の子どもたちの居場所づくりを主目的に、青少年の体験活動の推進の一環として、主に工作をとおして子どもたちの創造性を育む。			
日時	毎月第3土曜日(原則)	会場	青少年総合センター会議室	
来場者	下記のとおり	参加者	市内の小学生、九産大学生	
内容	4月19日(土)	15名	「なんちゃって花瓶」空き缶に画用紙でカバーかけて花瓶をつくる	
	5月17日(土)	16名	「デッサン大会」描きたい素材を選んで個性的に描写する	
	6月21日(土)	21名	「世界に一つだけのパズル」カーボン紙で写した絵でパズルをつくる	
	7月19日(土)	25名	「うちわ作り」花火の絵を描き、ダンボールに貼ってうちわをつくる	
	8月16日(土)	12名	「夏だ！ウェルカムボード作り」貝殻をベニヤに貼り付けてつくる	
	9月20日(土)	21名	「ふうりん作り」ガチャガチャのケースに貝殻等を入れて風鈴をつくる	
	10月18日(土)	22名	「発泡スチロールを使った立体作品作り」 発泡スチロールの食品トレーを装飾してハロウィーンの仮面をつくる	
	11月15日(土)	28名	「チラシでおしゃれな袋づくり」チラシや新聞紙で手提げ袋をつくる	
	12月13日(土)	11名	「オーナメント&リースづくり」新聞紙や画用紙等につくって飾り付ける	
	1月17日(土)	21名	「新春かけじく作り」今年の目標を記したものを画用紙等で手作りする	
	2月21日(土)	33名	「キラ☆キラ☆万華鏡づくり」ポリカーボネイトを使って万華鏡をつくる	
	3月14日(土)		「ファイルdeバッグ」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州産業大学の学生が毎回、工夫を凝らし、2時間という限られた時間の中で効果的な指導をしてくれており、参加者から好評である。</li> <li>・リピーターも多いが、登録者は50人を超えている。</li> <li>・家で改めて保護者と楽しむことができる(家庭内でのコミュニケーションに活用できる)。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・距離の問題で、近いところの子どもは気軽に来れるが、遠い場合は保護者の送迎が必要なため、参加者に地域的なばらつきがある。</li> <li>・小学生全般なので、高学年に対しては少し物足りない、或いは低学年には少し難しいというような状況が稀にある。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
159,943円(消耗品費、その他事業費も含む)			136,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	体験活動謝礼	96,000	2,000円×48名
11	消耗品費	消耗品費	40,000	事務用品等(その他事業含む)
合計			136,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(小学生読書リーダー育成事業)

目的	(1)読書活動に関する講座や研修をすることにより、子どもたちの読書リーダーとしての資質を向上させる。 (2)自主的に読書活動に取り組むことで、「言葉の力」を伸ばし、豊かな心の育成と学力向上を図る。 (3)読書リーダーとして、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動を行うことにより読書の輪を広げる。			
日時	6/21、7/5、7/23、7/28、7/30 8/7、8/8、10/4、2/21等	会場	古賀市役所/福岡県立図書館/古賀市立図書館/ 各小中学校	
来場者		参加者	リーディング・リーダー 28名 小・中学校司書教諭・司書、市立図書館司書ほか	
内容	(1)開講式 リーディング・リーダーってなに？ (2)県立図書館を見学しよう！(司書さんより講話、ブック・トーク実演含む) (3)地域のボランティアさんにお話会の仕方を教わり、計画を立てよう！ (4)市立図書館の仕事を体験し、お話会に挑戦しよう！ (5)おすすめの本を紹介しよう！ 「2014 いちおし ブックガイド」作成(冊子にして、学校、図書館などに配布) (6)児童文学作家から話を聞こう！杉山 亮氏予定 ※認定証授与(各校で校長先生より授与。前期終業式または後期始業式にて) (7)各学校での実践活動 (8)閉講式 一年間の活動報告をしよう！			
成果	○市立図書館、県立図書館、ボランティアさん等、読書に関わっているいろんな方とふれあうことができ、幅広く、意義深い研修を実施することができた。 ○リーディング・リーダーが図書館の事、司書の仕事、読み聞かせやお話会の仕方を学ぶことで読書意欲が向上した。また、学んだことを基に、周囲の人たちへ読書の楽しさを伝える活動を各学校で検討し、アイデアを出しながら実践できた。更に、文章の書き方、発表や読み聞かせの仕方などの力がつき、自信を持って活動している姿をみることができた。 ○前リーダーが、新リーダーのオブザーバーとして活躍していた学校が増え、今後、継続的な取組が期待できる。 ○司書、司書教諭と一緒に研修内容を組み立てていくことで、各学校で活かせる研修内容の検討ができた。また、係に分かれ活動することで連携、情報交換などが自然にでき、各学校が刺激しあうことで読書活動活性化につながった。			
課題	○学校での取組では、活動時間の確保が難しかったとの報告があった。また、研修、講座、講演会など休日開催が多く、司書教諭、司書への負担が大きかった。来年度からは、今までの取り組みを活かしながら、各学校において取り組みをすすめていく形をとりたい。 ○3年間のボトムアップ事業で、RLPの認知度が上がってきたが、まだ、活動自体が見えづらい学校もある。軽読書化傾向、読書離れの子どもたちへ読書の楽しさを広げ、読書の輪が広がっていく取り組みを更に市立図書館、小中学校と連携しながら考えていきたい。			
H25年度決算額		H26年予算額		
270,318円		312,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	1ゲストティーチャー謝礼	8,000	ゲストティーチャー8校 × 1,000円
8報償費	2講師謝礼	2講師謝礼	96,000	児童文学作家講演謝礼
9旅費	1費用弁償		44,000	児童文学作家講演 交通費 宿泊費
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	81,000	用紙、文具、印刷トナー代等
11需用費	3食糧費	1食糧費	7,000	お茶代
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	30,000	おすすめの本印刷費
14使用料及び貸借料	8車借上料	1車借上料	46,000	県立図書館見学 バス借上げ代
合計			312,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(中学生読書リーダー育成事業)

目的	(1)読書活動に関する講座や研修をすることにより、子どもたちの読書リーダーとしての資質を向上させる。 (2)自主的に読書活動に取り組むことで、「言葉の力」を伸ばし、豊かな心の育成と学力向上を図る。 (3)読書リーダーとして、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動を行うことにより読書の輪を広げる。			
日時	6/21、7/5、7/23、7/28、7/30 8/7、8/8、10/4、2/21等	会場	古賀市役所/福岡県立図書館/古賀市立図書館/各中学校	
来場者		参加者	リーディング・リーダー 28名 小・中学校司書教諭・司書、市立図書館司書ほか	
内容	(1)開講式 リーディング・リーダーってなに？ (2)県立図書館を見学しよう！（司書さんより講話、ブック・トーク実演含む） (3)地域のボランティアさんにお話会の仕方を教わり、計画を立てよう！ (4)市立図書館の仕事を体験し、お話会に挑戦しよう！ (5)おすすめの本を紹介しよう！ 「2014 いちおし ブックガイド」作成（冊子にして、学校、図書館などに配布） (6)児童文学作家から話を聞こう！杉山 亮氏予定 ※認定証授与（各校で校長先生より授与。前期終業式または後期始業式にて） (7)各学校での実践活動 (8)閉講式 一年間の活動報告をしよう！			
成果	○市立図書館、県立図書館、ボランティアさん等、読書に関わっているいろんな方とふれあうことができ、幅広く、意義深い研修を実施することができた。 ○リーディング・リーダーが図書館の事、司書の仕事、読み聞かせやお話会の仕方を学ぶことで読書意欲が向上した。また、学んだことを基に、周囲の人たちへ読書の楽しさを伝える活動を各学校で検討し、アイデアを出しながら実践できた。更に、文章の書き方、発表や読み聞かせの仕方などの力がつき、自信を持って活動している姿をみる事ができた。 ○前リーダーが、新リーダーのオブザーバーとして活躍していた学校が増え、今後、継続的な取組が期待できる。 ○司書、司書教諭と一緒に研修内容を組み立てていくことで、各学校で活かせる研修内容の検討ができた。また、係に分かれ活動することで連携、情報交換などが自然にでき、各学校が刺激しあうことで読書活動活性化につながった。 ○中学校独自の取り組み「ビブリオバトル」に3中学校で取り組むことができた。			
課題	○学校での取組では、活動時間の確保が難しかったとの報告があった。また、研修、講座、講演会など休日開催が多く、司書教諭、司書への負担が大きかった。来年度からは、今までの取り組みを活かしながら、各学校において取り組みをすすめていく形をとりたい。 ○リーディング・リーダーの募集を1年生に限っている。リーダーとなって進めていくには、2、3年生の参加があった方がいいとの意見がある。検討の必要がある。 ○3年間のボトムアップ事業で、RLPの認知度が上がってきたが、まだ、活動自体が見えづらい学校もある。軽読書化傾向、読書離れの子どもたちへ読書の楽しさを広げ、読書の輪が広がっていく取り組みを更に市立図書館、小中学校と連携しながら考えていきたい。			
H25年度決算額		H26年予算額		
162,160円		191,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	1ゲストティーチャー謝礼	3,000	ゲストティーチャー3校 × 1,000円
8報償費	1講師謝礼	1講師謝礼	110,000	児童文学作家講演謝礼
9旅費	1費用弁償		30,000	児童文学作家講演 交通費 宿泊費
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	25,000	用紙、文具、印刷トナー代等
11需用費	3食糧費	1食糧費	3,000	お茶代
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	20,000	おすすめの本印刷費
合計			191,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成26年度文化芸術事業報告書(介護予防支援センター(りん)管理運営事業)

目的	・高齢者に対し、生きがい活動等の介護予防支援事業を実施し、高齢者等の健康の保持増進及び向上を図る。		
日時	月・木・金曜日(10時～15時) 水曜日不定期	会場	ふれあいセンターりん
来場者	65歳以上の高齢者	参加者	延3520人
内容	「ふれあいセンターりん」では古賀市にお住いの、概ね60歳以上の方を中心に、ものづくりや生きがいづくり、仲間づくりを行っている。 また、26年度は、創立10周年記念事業として、各取り組みの発表会を行った。		
	(生きがい活動) ●木工(毎週木曜日) ●革細工(毎週月曜日・金曜日) ●紙バンド教室(月1回) ●ウクレレ教室(月2回) ●折り紙教室(月1回) ●布草履づくり(月2回) ●コーラス(月1回) ●絵画(月1回) ●押し花(月1回) ●ヨガ・太極拳 ●その他(次世代交流活動 等)		
成果	●高齢者の生きがいづくりの目的で、様々な文化活動が行われている。その中で、最も特徴的な点は、一人の講師が教え習う活動は少なく、多くは高齢者同士の教え合いが行われて活動を継続している点である。木工も先輩の参加者が、教え合う形で様々な作品を作っている。 ●他の生きがい支援センターより、男性の参加者が多い。 ●作品を、1年に1度「まつり古賀」で販売している。		
課題	●りんでき生きがいづくりを目的に、文化活動に参加している高齢者の方々が、りんだけの活動に終わっていることが多い。今後は、りんでの活動が、地域公民館などの活動へ広がることを期待したい。		
H25年度決算額		H26年予算額	
7,319,000円		8,114,000円	
予算根拠			
節	細節	細々節	予算額
			8,114,000円
合計			8,114,000円
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		

平成26年度文化芸術事業報告書(介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)事業)

目的	・要介護認定者以外の65歳以上の高齢者に対し、生きがい活動としての各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防する。			
日時	火曜日～土曜日 (10時～15時)	会場	社会福祉センター 千鳥苑 しゃんしゃん	
来場者	65歳以上の高齢者	参加者	2,917人	
内容	●主な取り組み ・楽しみながら日常生活を意識した運動 ・生活に密着した内容の講座開催 ・食べることを楽しみに、栄養のバランスが取れた食づくり ・昔好きだったこと、チャレンジしたいこと等、個性を大事にした趣味活動			
	●活動内容例 ①季節の行事 ②各健康教室(口腔衛生・認知症予防・食事に関する教室 等) ③体操に関する教室(体操レクリエーション・いきいき体操・ヨガ等) ④手芸活動・芸術活動 ⑤園芸活動 ⑥世代間交流			
成果	・しゃんしゃんで行う様々な活動を通し、高齢者が生きがいを持ち楽しく取り組むことにより、心身を健康に保ち、介護予防が図れた。 ・創作活動において、できた作品を千鳥苑のロビーに展示し、認め合うことで、自尊感情を高め合うことができた。 ・花見東1区の福祉会に「ビーズのアクセサリーづくり」の出前講座をおこなった。 ・児童センター「コスモックス」・古賀北中学校との交流会を行った。			
課題	・しゃんしゃんの参加者は、ほとんどが後期高齢者(75歳以上)であり、地域等への活動の展開がなかなかできない。			
H25年度決算額		H26年予算額		
6,618,000円		6,798,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13	6	21	6,798,000	しゃんしゃん指定管理料
合計			6,798,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営事業)

目的	・高齢者の生きがいづくり、介護予防、レクリエーション及び世代間交流並びに地域支援の向上に資する市民活動を支援を行い、介護予防の推進を図る。			
日時	えんがわくらぶ 火曜日・木曜日	会場	古賀東小学校内 旧用務員室	
来場者	65歳以上の高齢者	参加者	延1021人	
内容	①東小学校生徒との交流 1年 年2回(昔遊び・どんぐり工作) 2年 年4回(プチトマト植え・音楽を楽しむ・音楽発表) 3年 年6回(お花を独居の高齢者に届ける・昔遊び・昔の生活を聞く 等) 4年 年1回(ミニ講演 エコ名人になろう) 5年 年2回(昔のおやつづくり) ②教養講座(パソコン・古賀の歴史講座) ③体験講座(バスハイク) ④趣味講座(手芸、絵手紙 等)			
成果	●小学校内にあり、日常的な児童と高齢者の交流活動が行われている。児童と高齢者が様々な活動を行うことにより、あたたかい時間がもてており、お互いの喜びとなっている。 ●活動が評価を受け、中学校 家庭科の教科書に掲載されることとなった ●様々な講座によって、生きがいづくりとなり、参加者の健康増進・脳トレによる認知症予防となっている。			
課題	●民家なので、部屋が狭く多くの方を受け入れることができない。			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,468,000円		1,474,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13	委託費	委託費	1,474,000	高齢者生きがいづくり支援事業委託
合計			1,474,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営事業)

目的	・「元気なひとづくり」の一環として、介護予防の視点から①介護予防・生きがい支援型デイサービス ・元気高齢者の健康保持及び仲間づくり③家族支援としてのショートステイの事業を市民と共働により活動することで、生きがいや助け合い活動の在り方を学び、地域活動へと結ぶ。			
日時	介護予防デイサービス (月・水・金10時～15時)	会場	いきいきせんたーゆい	
来場者	60歳以上の高齢者	参加者	利用者数3520人	
内容	ディプログラム ①食づくり(月・水・金 昼食をサポートが作り、参加者全員で交流しながら会食を行う) ②パソコン教室 ③ハンドベル ④筆ペンで遊ぼう ⑤パステルアート ⑥季節の絵手紙 ⑦木目込みアート ⑧手芸・ビーズ ⑨歴史講話 ⑩ハーモニカ ⑪コーラス ⑫太極拳 ⑬気功 ⑭畑づくり ⑮世代間交流 ⑯男の料理教室			
成果	・各活動の中から、自分に合った活動を楽しみ行い、生きがいを見つけることにより介護予防を図った。 ・ゆいの活動で身に付けたものを、施設等で発表を行い、喜ばれている ・ハンドベルは童謡祭りで発表 ・ゆいの創作活動で作成した作品を、センターに展示し、お互いで認め合うことで自尊心が高まった。 ・次世代交流においては、ほずみ保育所や福岡女学院との交流を行い、高齢者の知恵や技能を次世代に伝えることができた。			
課題	・いきいきセンターゆいで、様々な文化活動を行い技能を修得したことを、地域でもっと活かせる仕組みづくりを行う必要がある。			
H25年度決算額		H26年予算額		
592,374円		703,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	1	1	397,000	サポーター謝礼
	2	1	16,000	講師謝礼
11	1	1	290,000	消耗品
合計			703,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す ― 人にやさしいまちづくり ― 行政がおこす ― 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(生き生き音楽校事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を体験し、歌唱を通じて昔の記憶を刺激し回想を行い認知症を予防し、また呼吸法や発音練習により、心肺機能向上や口腔機能向上を目ざし、介護予防を図る。</li> <li>・高齢者の地域の集いの場を提供し、交流活動の活性化を図る。</li> </ul>			
日時	各地域年間10回	会場	米多比児童館・薬王寺公民館 谷山公民館	
来場者	65歳以上の高齢者	参加者	延参加者数 579人	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間 90分(開催地域の区長と講師との日程を調整し開催日決定)</li> <li>●回数 10月～2月(月2回)3月合同発表会 10回×3か所=30回+発表会1回=31回</li> <li>●内容 音楽療法による、音楽活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆で懐かしい歌を歌う</li> <li>・簡単な体操</li> <li>・簡単な楽器を使い、合奏を楽しむ</li> <li>・口腔体操</li> </ul> </li> <li>●啓発方法 各開催地域 チラシ配布</li> </ul>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に対して「難しい」と苦手感を持たれている方や、人前で歌うことが恥ずかしい方など、知人から誘われ参加し、次第に表情が明るくなり、会話を楽しむ姿が、どの教室でも見られた。</li> <li>・「教室があることで、日常の活動に活気が出た」との意見があった。</li> <li>・介護支援課で推進している「しあわせ体操」を、教室で取り組んだ</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館での高齢者対象の音楽教室の普及のために、2年間支援を行ってきた。その後、自立を働きかけたが、参加費や教材費が必要となると、自主団体での活動への移行が難しい。</li> <li>そこで、27年度より、公民館で行う音楽教室の普及のために、音楽レクリエーションボランティア講座を開催し、地域展開のボランティアを養成する。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
874,911円		1,232,440円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13	5	24	1,207,440	音楽教室委託費(3箇所)
11	1	1	25,000	消耗品(ファイル・名札等)
合計			1,232,440	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(コスモックスまつり)

目的	・青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている児童センターで、その利用者が自発的にイベントを開催することにより、日頃の成果の発表及び交流の場とする。			
日時	平成26年9月28日 15時～18時	会場	千鳥児童センター (コスモックス)	
来場者	児童センター利用者、利用者OB、 出演者の関係者(保護者や友人)等 174人 (小学生 30人、中学生 6人、 高校生 59人、一般 19人)	参加者	出演者 60人	
内容	千鳥児童センターを利用している高校生バンドやダンスチームが実行委員会を組織して、音楽やダンスの発表を行ない、上演の間には来場者が参加できるゲーム(〇×クイズ、じゃんけん大会など)を実施。企画、準備、進行を利用者が行い、児童センタースタッフは裏方として支える。			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の高校(竟館高校、玄界高校、新宮高校など)や児童センターOB、小中学生が集い、交流が図れた。</li> <li>・初心者から熟練者まで、発表の場を設けることで、自尊心を高めることにつながることを期待される。</li> <li>・利用者の企画により実施されるイベントであるため、満足度が測れる。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が対象であるため、閉鎖的な印象があるが、会場は飽和状態。</li> <li>・利用者の意思により実施の有無が決定するため、スタッフの働きかけが必要。</li> </ul>			

H25年度決算額	H26年予算額
12,313円	15,000円

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	15,000	消耗品費
合計			15,000	

備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期
----	--

# 平成26年度文化芸術事業報告書(第19回図書館まつり)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動の推進</li> <li>・読書活動に関する興味関心を深める</li> <li>・図書館を身近に感じてもらう</li> </ul>			
日時	4月19日(土)～20日(日)	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	181人	
成果	<p>「古賀東小学校ぐりとぐらの会のおはなし会」            内容 講師によるネルシアターや大型紙芝居等を実施            日時 4月19日(土) 11時～11時45分            講師 古賀東小学校ぐりとぐらの会            参加者 子ども24人 大人18人 合計42人</p>			
	<p>「世界でひとつだけのしおりをつくろう」「かんたんえほんづくり」            内容 色画用紙や絵はがきのイラストやシール、色鉛筆などを使ってしおりや絵本を作成。            日時 4月19日(土) 14時～15時30分            参加者 子ども22人 大人15人 合計37人</p>			
	<p>「やってみよう！子ども科学実験」            内容 福岡教育大学人材バンク出前講座を利用して、子ども科学実験およびショーを開催。            日時 4月20日 14時～15時            講師 福岡教育大学 理科教育講座 教授 伊藤 克治 氏            (福岡教育大学出前講座のため講師料は無料)            会場 サンフレアこが 2階視聴覚室            参加者 子ども64人 大人38人 合計102人</p>			
	「国際アンデルセン賞受賞日本人作家作品展」(図書館内展示)			
	「雑誌リサイクル」(サンフレアこが1階ロビー)			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
750,000円		700,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	10,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)10,000円
9旅費	01費用弁償		1,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)1,000円
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(読書ボランティア入門講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動の推進</li> <li>・読書活動に関する興味関心を深める</li> <li>・図書館を身近に感じてもらう</li> </ul>			
日時	6月6日(金)、27日(金) 10時30分～12時20分	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	63人	
内容	<p>「第1回 読書ボランティア入門講座」            内容 初心者向けの絵本の読み聞かせの基礎や学校での読書ボランティアの心構えについての講座。            絵本の選び方、持ち方、学校の朝の読書などでの短い時間のプログラムの立て方のコツ、記録をとることの重要さなどについて講義いただいた。</p> <p>日時 6月6日(金)            テーマ 「絵本の読み聞かせと読書ボランティアの心構え」            講師 上村 篤子 氏            参加者 40人</p>			
	<p>「第2回 読書ボランティア入門講座」            内容 おはなし会の導入に使える手袋人形「からすの親子」の作成と実演の指導。</p> <p>日時 6月27日(金)            テーマ 「おはなし会の小道具づくり～手袋人形をつくりましょう～」            講師 古賀市立図書館布の絵本ボランティア「つくしんぼ」            参加者 23人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせの実演を交えながら、絵本の選び方、持ち方、学校の朝の読書などでの短い時間のプログラムの立て方のコツ、記録をとることの重要さ等について実践的な内容について学ぶことが出来た。</li> <li>・講師に年齢別の絵本のリストも用意していただき、明日からすぐにでも実践できる内容で参加者にも好評だった。</li> <li>・人形の作成・実演が初めての受講生が多いなか、講師の皆さんのわかりやすい指導のもと、時間内にそれぞれの個性あふれるからすの親子を仕上げる事が出来、演じるコツの練習もすることができた。</li> <li>・アンケートでも、今後ぜひ学校などで演じてみたいとの声も多く聞かれ、おはなし会や読み聞かせのレパートリーの広がりの一助となったのではないかと考える。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる読書ボランティア支援の充実を図る必要がある。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
講師謝礼 50,000円 託児謝礼 43,578円		50,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	20,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)20,000円
8報償費	01報償費	01託児謝礼	30,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)30,000円
合計			50,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政 — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(視聴覚資料利用促進事業)

目的	市民・図書館利用者に対して、図書館が所蔵している視聴覚資料の上映を行うことで、作品を楽しく鑑賞してもらったり映画の楽しみを知ってもらう			
日時	名画会 第2土曜日 子ども映画会 第2日曜日	会場	サンフレアこが 2階 視聴覚室	
来場者		参加者	名画会 706人(年間) 子ども映画会 352人(年間)	
内容	名画会 年間12回開催 子ども映画会 年間12回開催			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名画会については、介護支援課の外出促進事業に参加したことにより、それをきっかけとして名画会の参加者数が増加しリピーターになってくれる人も増えた。</li> <li>・子ども映画会については、図書館の視聴覚資料を上映することで、関連する図書資料の貸出し等が増加し、貸出促進が得られた成果は大きい。</li> </ul>			
課題	・一定の参加者数を得られているが、子ども映画会の参加者数が減少している。今後の事業について、読書の楽しみや情報を伝えらるよう工夫が必要と思われる。			
H25年度決算額		H26年予算額		
なし(人件費のみ)		なし(人件費のみ)		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(視覚障害者読書支援事業)

目的	市内視覚障がい者に対して、朗読ボランティアが録音した資料を活用し、読書の楽しみや情報の提供など実施する。			
日時	不定期	会場	図書館	
来場者		参加者	6件	
内容	朗読ボランティアが録音したテープや図書館の資料(カセットブック録音図書)を無償郵送システムを使って視覚障がい者へ提供する。			
成果	・6件の依頼を受け視覚障がい者の方へ配送を行った。			
課題	・活用件数が徐々に減少しており、広報や周知を行う必要があると思われる。			
H25年度決算額		H26年予算額		
なし(人件費のみ)		なし(人件費のみ)		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(おはなし会スペシャル)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動の推進</li> <li>・読書活動に関する興味関心を深める</li> <li>・図書館を身近に感じてもらう</li> </ul>			
日時	7月20日(日) 14時～15時	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	173人	
内容	<p>内 容 古賀市内6つの地域文庫で活動している皆さんによる、群読や大型絵本の読み聞かせやストーリーテリングや人形劇等を行った。</p> <p>参加者 子ども 48人 大人 42人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文庫連絡会のなかで打ち合わせをしたことにより、全体的にバランスがとれた構成となった。</li> <li>・夏休みの最初の日曜日の催しとして、子どもたちが読書に親しむきっかけになった。</li> <li>・プログラムの幕間に原作の絵本の紹介と併せて地域文庫のパネルの紹介も行うことにより文庫活動への関心が深まった。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
25,000円		30,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	30,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)30,000円
合計			30,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(小学校親子読書活動促進事業)

目的	・市内小学校及び保護者に親子読書会に参加してもらい読書の幅を広げ楽しみながら読書活動による知識を深めてもらう			
日時	①親子読書会:各小学校で随時 ②つどい:平成27年1月31日(土)	会場	①各小学校にて実施 ②リーパスプラザ大ホール	
来場者		参加者	②370名	
内容	①親子読書会:各小学校で随時活動 8小学校にあり 会員数 154人 各学校で、読書会を実施したり、講師を招き読書から発展した活動を行う。 ②つどい:平成27年1月31日(土)実施 参加者数 370人 各学校の活動の発表を行う。			
成果	・各学校での活動では、読書活動を親子で楽しみ、読書習慣を育むことができている。 ・つどいでは、各親子読書会との交流や情報交換ができている。			
課題	・共働き世帯の増加により親子読書会の加入世帯の減少が見られる。参加可能な世帯だけでなく、親子読書活動を広げるための方向性を見直すべきと考える。			
H25年度決算額		H26年予算額		
講師料 50,000		80,000		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	02 講師謝礼		80,000	講師謝礼
合計			80,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期 — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(地域文庫・読書ボランティア支援事業)

目的	地域文庫・読書ボランティア団体に対し、地域での読書活動の活性化を支援する。			
日時	随時	会場	図書館→地域	
来場者		参加者		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の貸し出しも許可</li> <li>・100冊以上の貸し出し許可</li> <li>・地域文庫及び読書ボランティア団体に団体貸出を行い、地域での読書活動の推進を図る。                  団体数 105団体 年間貸出冊数 16,072冊                  うち地域文庫(市内6文庫) 1,905冊</li> </ul>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文庫や読書ボランティア等に団体貸出を実施することにより、地域の活動を支援することができるとともに読書活動の推進ができた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出の活用促進を図る。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
なし(人件費のみ)		なし(人件費のみ)		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期 — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「暖かくて楽しいことばのひと時」を持つことを支援する。</li> <li>・子育て中の親子の居場所づくりや、子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。</li> <li>・基本的生活習慣の習得</li> </ul>			
日時	月1回 10:00受付11:00～12:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
来場者		参加者	4か月児とその保護者	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべうた・ふれあいあそび</li> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・ブックスタートの趣旨、配布物の説明</li> <li>・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他)</li> <li>・基本的生活習慣の習得に関する啓発</li> <li>・子どもとメディアとの関係づくりのグループワーク</li> <li>・絵本の引換</li> <li>・育児相談</li> </ul>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて絵本と出会う方もいて、読み聞かせの楽しさを知ってもらえている。また、絵本の選び方の参考になっている。</li> <li>・つどいの広場「でんでんむし」利用につながり、ママ友づくりのきっかけになっている。</li> <li>・乳児全戸訪問で出会った幼児との再会の場となり育児の現況確認や育児相談の機会になっている。</li> <li>・事業に不参加で再訪問が必要な家庭への訪問をする際に絵本を持参することは訪問のきっかけにもなっている。</li> <li>・赤ちゃんの成長を身体と心の発達やコミュニケーションの深まりの面などから考えてもらえるようになった。</li> <li>・ブックスタート後の図書館での赤ちゃんおはなし会への参加が定着している。</li> <li>・男性が赤ちゃんを連れてこられたり子どもと図書館で過ごすことが普通になってきた。絵本の読み聞かせも育児に欠かせないこととして家庭に浸透しているようだ。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市の広報や行事予定表や乳児全戸訪問にてPRしているが引き換え率が100%になっていない。</li> <li>・交通手段が無いため参加が困難な方がいる。</li> <li>・図書館の利用登録申請書を一緒に配布しているが、赤ちゃんが実際に登録するのは、1回につき4人程度で、多いとはいえない。広報などで呼びかけていきたい。</li> <li>・ブックスタート以後の就学前の子ども読書の実態の把握をしていきたい。</li> <li>・家庭に乳幼児の読書を推奨するための取組。他の課や機関との連携をしていきたい。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
(子育て支援課)234,725円 (図書館)60,060円		(子育て支援課)259,000円 (図書館)61,776円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	2	2	48,000	メディア啓発謝礼
11	1	1	168,480	絵本代
			42,120	アドアイス集
小計			258,600	(子育て支援課)
11	4	1	61,776	赤ちゃんえほんリスト「ねえよんで」印刷費
小計			61,776	(図書館)
合計			320,376	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 — ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(レッツトライ!プロジェクト)

目的	・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。				
日時	第1回 8月28日(木)、第2回 10月30日(木)、 第3回 11月28日(木) 19時～21時	会場	リーパスプラザ 大会議室 (第3回のみ研修棟202号室)		
来場者		参加者	第1回13人、第2回14人、第3回11人		
内容	内容 講師大澤寅雄氏とコーディネーター坂崎隆一氏に協力いただき、古賀市が抱える課題や、古賀市が誇る魅力を基に、文化芸術を通して人やまちを盛り上げることが出来る事業を考え、具体化し、企画書の作成まで行った。 講師 大澤 寅雄 氏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室) コーディネーター 坂崎 隆一 氏 (坂崎隆一型事務所代表)				
	8月28日(木)	①あいさつ	【自己紹介】知り合いがいない人は自己紹介、知り合いが少ない人から順にその人を知っている人がどういう人なのかを紹介する。 【ワークショップ】グループに別れ、同じグループの人が何をしたいかを付箋に書き、模造紙に貼り付ける。		
		②アクションプランの説明			
		③講師およびコーディネーターの紹介			
		④昨年度までの流れ			
		⑤自己紹介			
10月30日(木)	①講座の説明	【ワークショップ】前回でた意見を4つのグループに分別し、その中から興味があるグループを選び、付箋をもとに企画を具体化していき、グループごとに発表する。			
	②グループワーク				
	③質疑応答				
	④次回の日程決め				
11月28日(金)	①講座の説明	【ワークショップ】3つのグループで前回講座の意見を元に案を更に具体化したものを模造紙に企画書形式で記載し、発表する。			
	②グループワーク				
	③発表				
	④まとめ				
成果	・実施可能な企画が3つ挙がり、その1部がすでに今年度実施する予定になっている。また、今年度実施は難しいが、数年以内には実施したいとの意見も挙がっている。 ・本講座を通して団体同士が得たつながりで、別の事業を合同で行っていた。 ・チラシを配布する際、興味がありそうな方を紹介してもらい、また次の方にもという方法をとったところ、新しい人材の発掘ができた。				
課題	・やらされるのではなく、長く、自立して、自主的に事業を続けるためにも、講座では企画を作り上げるまでを行い、講座終了後に参加団体の自主的な力で企画の実施を行ってほしいとの思いから、講座内で企画の実施までは行わなかったが、講座終了後にとったアンケートでは、挙がった企画をどうしていいのかわからないとの意見が挙がった。 ・今回初めての実施だったこともあり、どのように進んでいくか先が読めず、説明が不足していたこともあった。講座がどのように進んでいくのかまた、目的は何か等わからなかったとの意見が挙がった。 →目的については講師からも職員からも何度も説明を行ったが、なかなか伝わらなかった。根気強く説明を続けて行きたい。また、本講座がどのように進むのか、終了後はどうしてほしいのかを受講者にしっかり伝える。 ・新しい人材発掘のため、今までに依頼したことのない店にチラシの設置のお願いをしたり、人づてに紹介してもらうなど出来る限りのことを行ったが、新規の受講者はそれほど増えなかった。 →チラシ、HP、広報こがなど様々な方法で広報を行ってきたが、直接個人又は団体に訪ねてお話をするほうが、より有効なように感じる。手間と時間はかかるが、地道に行っていく。				
H25年度決算額		H26年予算額			
274,000円		90,000円			
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	90,000	講師謝礼 300,000×3回	
合計			90,000		
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期				

平成26年度文化芸術事業報告書(文化芸術振興計画管理事務)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。</li> <li>古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。</li> </ul>			
日時	5月27日(火) 10時～ 10月28日(火) 12時30分～	会場	古賀市役所 第2委員会 (第3回のみ)第3委員会室	
来場者		参加者	第1回 10人、第2回 10人、第3回 9人	
内容	5月27日(火)	第1回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉	
			②委嘱書交付	
			③市長あいさつ	
			④教育長あいさつ	
			⑤自己紹介	
			⑥会長・副会長選出	
			⑦議事録署名委員の選出	
			⑧協議	
			・古賀市文化芸術審議会運営規程並びに傍聴要領について	
			・古賀市文化芸術振興計画並びにアクションプランについて	
	・今年度の実施施策について			
	⑨その他事項			
	・えがおにつどいについて			
	・第2次古賀市生涯学習基本計画及びダイジェスト版について			
	⑩開会の言葉			
10月28日(火)	第2回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉		
		②会長あいさつ		
		③報告		
		・文化芸術関連事業の実施報告について		
		・市全体で取り組んでいる文化芸術関連事業について		
		・(仮称)生涯学習センターの工事の進捗状況について		
		④協議		
		・平成27年度の文化芸術企画(案)について		
		⑤その他事項		
		⑥閉会の言葉		
3月3日(火)	第3回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉		
		②市長あいさつ		
		③教育長あいさつ		
		④会長あいさつ		
		⑤報告		
		・文化芸術関連事業の実施報告について		
		・来年度の文化芸術事業の計画書(改訂版)について		
		⑥協議		
		・来年度の文化芸術審議会の開催日程及び内容について		
		⑦その他事項		
⑧閉会の言葉				
成果	報告書の様式が確定してきた。			
課題	よりわかりやすい資料の作り方を検討していく。			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,003,000円		395,600円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
1報酬	2委員報酬	41文化芸術 審議会委員 9人	270,000	文化芸術審議会委員 7,500円×4回×9人
9旅費	1費用弁償		90,000	文化芸術審議会委員 2,500円×4回×9人
9旅費	2普通旅費		30,000	文化芸術審議会委員視察 2,500円×13人
12役務費	1通信運搬費	1通信運搬費	5,600	文化芸術審議会案内 140円×10人×4回
合計			395,600	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(自然史歴史教養講座)

目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会として「自然史・歴史講座」を開催する。			
日時	下記記載	会場	下記記載	
来場者			参加者	下記記載
内容	第1回 現地学習「黒田官兵衛の軌跡をたどる」 5月21日(水) 9:00～15:45 福岡城址・舞鶴公園(福岡市中央区)～崇福寺(博多区) 参加者 34人			
	第2回 講演「船原古墳群から出土した金銅装馬具と古代の国際交流」 6月1日(日)13:00～15:40 福岡大学人文学部歴史学科教授 桃崎祐輔氏 サンフレアこが視聴覚室 参加者 125人			
	第3回 現地学習「さまざまな馬具を見てみよう」 6月15日(日)9:00～16:00 王塚装飾古墳館(桂川町)～九州歴史資料館(小郡市) 参加者 32人			
	第4回 現地学習「黒田の家臣 薦野増時の史跡を行く」 9月27日(土)10:30～15:00 梅岳寺(新宮町)～清瀧寺、養徳山(古賀市薦野) 参加者:18人			
	第5回 トークショー「歴代資料館長が語る資料館20年の歩み」 11月16日(日)13:30～15:30 初代館長 安武敏夫さん、第2代館長 石井 忠さん サンフレアこが視聴覚室 参加者49人			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映を機に、黒田官兵衛と立花氏・黒田氏に仕えた薦野増時の史跡を訪ね、その足跡を学ぶ。」「船原古墳の出土遺物と馬具について学ぶ。」「歴史資料館20年の回顧」の3つのテーマにより講座を設定。</li> <li>・第1回講座では福岡城バーチャル体験により福岡城の歴史や構成を詳細に学んだ。黒田氏の菩提寺である崇福寺について学習した。第4回講座では古賀市史跡案内ボランティアの協力を得て、郷土の戦国武将薦野増時について学んだ。</li> <li>・第2回講座・第3回講座では船原古墳から発見された遺物の調査とその重要性について学び、装飾古墳と馬具について現地学習を行い、九州歴史資料館ではバックヤードツアーと調査にかかわられた職員の話話を傾聴した。</li> <li>・歴史資料館歴代館長から20年間を振り返っての思い出話しやエピソードを話していただき郷土の歴史伝承に傾けられた思いに触れることができた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる歴史伝承活動の推進のため、広く周知を行う必要がある。</li> <li>・現地学習の参加希望者は多いが、実施の回数・形態の拡張は困難。</li> </ul>			
H25年度決算額			H26年予算額	
74,515円			90,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	60,000	歴史文化普及事業／自然史歴史教養向上事業
9旅費	02普通旅費	02普通旅費	2,000	
11需用費	01消耗品費	01消耗品費	18,000	
14使用料及び賃借料	01使用料	01施設使用料	3,000	
	05 駐車場・有料道路使用料	05 駐車場・有料道路使用料	7,000	
合計			90,000	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(プロムナードコンサート)

目的	・プロの演奏を野外で気軽に聞ける機会を提供し、音楽に対して興味関心を深めるとともに、古賀市の文化度のクオリティの向上を図る。 ・子どもと一緒に参加できるコンサートを意識し、子育て世代が文化芸術に触れる機会を提供する。			
日時	9月27日(土) 18:30~20:20	会場	クロスパルこが 駐車場	
来場者	約660人(内スタッフ19人)	参加者		
内容	内容 高水準なプロの演奏を誰でも気軽に立ち寄って聴くことができる野外コンサート。入場無料。 受託者 株式会社 イベントシンク プロモーション 出演者 New Wings ・ The Flying Elephants			
成果	①新しい来場者の掘り起こし →来場者数は昨年度より減少したが、アンケートには「こんなコンサートを開催しているなんて知りませんでした」「初めて来場しました」「初鑑賞でした」等意見があり、新しい来場者の掘り起こしが出来たのではないかと考える。 ②クロスパルこがのPR →アンケートより「41年間で初めてこの場所を知った」という意見や、出演者からも「知らなかった。素晴らしい施設ですね」等意見があり、市内外に施設のPRを図れたと考える。 ③来場者の少ない地域へのアプローチ →今年度の会場選定の際の判断材料となった「青柳、小野校区の来場者の少なさ」に関して、来場者全体に対する青柳、小野校区からの来場者の比率は昨年度よりどちらの校区もわずかに上昇し、「青柳校区:昨年度(4%)今年度(9%)」「小野校区:昨年度(2%)今年度(3%)」という結果になった。 ④子育て世代が子どもと参加しやすいコンサート →目的の一つである「子どもと一緒に参加できるコンサートを意識し、子育て世代が文化芸術に触れる機会を提供する」という面では、アンケートには、「小さいお子さんも遊ぶスペースがあり、また全く静かにしてなくても気にならない」との意見もあり、目的の達成が図れたと考える。 ⑤全体的な評価 →全体を通しての評価としては、アンケート結果より「また来場したい」という意見が「97%」を占め、好評であったことが伺える。			
課題	①立ち寄りにくい →本来の「プロムナードコンサート」は、「誰でも通りすがりに立ち寄れる気軽なコンサート」であるべきだが、今回の会場はそういったことが難しい場所であった。アンケートでも、「場所が遠くて行きにくい」「歩いてでもいいけど」等意見や、「リーパスプラザでやってほしい」との要望が多数あった。 ②交通機関の不便さ →駅が近くになく、バスの本数も少ないため、古賀駅から送迎バスを運行せざるえない状況にあったが、利用者が少なかった。結果として、車での来場者が多く、駐車場となっていたコスモス館駐車場、グリーンパーク駐車場からも距離や坂道等があったためシャトルバスの運行が必要となり、バスの台数が足りず、社会福祉協議会のバスや、篠栗観光のバスを借用する結果となった。 ③クロスパルこがの利用者への配慮不足 →今回、ステージ周辺となるクロスパルこが入り口付近をバスや人が多く行きかうため、入り口前駐車場の制限をかけたが、周知が遅かったためクロスパル利用者には伝わっていなかった。また、クロスパルこがの第1駐車場は会員のみ利用可としていたが、コンサート来場者が駐車したりとマナー違反があり、会員駐車場が満車となったため、制限していた駐車場も開放せざるをえなかった。 ④会場周辺の暗さ →「アンケートが書きづらかった」「駐車場で足元が悪く、つまづいてしまった」等意見があがった。  →以上の課題解決のためには、会場の変更が必要であると考え。要望が多かったリーパスプラザで行う場合は、来年度は大ホールのつり天井工事のため、10月中旬からしか使用できない。また、バス運行をしなければならないような会場になれば、当日の関わる職員の数も増え、負担になるので、駅から歩いていける、また交通の便もよく通りすがりでも気軽に立ち寄れる場所での開催を検討していく必要がある。			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,445,000円		1,510,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	31スタッフ謝礼	10,000	文化のまちづくりの会 1,000円×10人
13委託料	5その他委託料	2野外音楽講演委託	1,500,000	音楽振興事業委託事業一式
14使用料及び賃借料	8車借上料	1車借上料	54,000	シャトルバス借用料 大型1台
合計			1,564,000	
備考	誇りをおこす — 行政がおこす			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(市民音楽祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。</li> <li>・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。</li> </ul>			
日時	平成26年7月27日(土)	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	641人(内招待93人、関係者45人)	参加者		
内容	<p>内容 市民が一流の音楽にふれる機会をふやすことを目的とし、手軽な料金でプロの演奏を鑑賞できます。さらに、古賀市民であればもっと安くなるお得なコンサート。</p> <p>出演者 中 孝介 氏、ミサंगा、チキンナゲツ 市民参加:ユカリクラシックバレエ</p> <p>前売り                  (市外):3,500円≪42人≫ (市内)2,500円≪329人≫ (市内割引)2,000円≪122人≫                  当日                  (市外):4,000円≪ 8人≫ (市内)3,500円≪ 2人≫                  ※身障者・高校生のみ500引き</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年に比べて、10代～40代までの来場者が増加した。出演者によって、若い層にもアプローチが出来ることがわかった。</li> <li>⇒≪昨年:10代(0%)20代(0%)30代(1%)40代(8%)50代(15%)60代(43%)70代(29%)80代(4%)≫</li> <li>⇒≪今年:10代(3%)20代(3%)30代(6%)40代(9%)50代(13%)60代(36%)70代(25%)80代(5%)≫</li> <li>・市民参加の「ユカリクラシックバレエ」が、元ちとせさんの曲に合わせて創作ダンスを披露し、プロの歌・演奏に劣らないほどで、大変好評だった。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日高音の部分で楽器の音にボーカルの音が負けてしまい、聞こえなかった。リーパスプラザの音響設備では調整が限界だといわれたので、今後はCDでOKな出演者など、工夫する必要がある。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,500,000円		1,500,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金補助及び交付金	4補助金	1文化芸術事業補助	1,500,000	文化芸術振興事業補助(市民音楽祭) 1,500,000円
合計			1,500,000	
備考	誇りをおこす — 行政がおこす 誇りをおこす — 団体がおこす			

# 平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:市民オーケストラ)

目的	・幼い子どもからお年寄りまで出来るだけ多くの市民の方や、日頃生のオーケストラ演奏になじみのない方に低料金で古典の名曲に接していただき心の安らぎと感激を提供したい。			
日時	平成26年6月14日(土) 15時～開演	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	193人	参加者		
内容	演奏曲目 シュトラウス「皇帝円舞曲」、ハイドン「トランペット協奏曲、ベートーベン「交響曲第6番田園」他 入場料 前売り:1,000円 当日:1,200円 高校生以下無料			
成果	・練習の参加率も上げ、全体の力量も上がり、「感動した」「また来たい」との意見をいただいた。 ・新たな一般会員申し込みが11件あった。			
課題	・入場者数が少なく、市の広報、文化協会広報、一般新聞等を通じてもっと周知させる必要がある。 ・一部の曲について、演奏がまずく来場者から大いなる非難を受けた。 ・身障者への案内は施設への文書で出したが、案内が遅く入場者数は0だった。 ・小中高生徒の来場者目標数は100人だったが48人で目標達成できなかった。			
H25年度決算額			H26年予算額	
			437,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会 437,000円 夏休みこども体験教室 212,000円 古賀市第九演奏会 409,000円 演劇ワークショップ「悠久の風」 500,000円
合計			1,594,000	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 団体がこす			

平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:古賀市文化協会)

目的	・古賀市内の子どもたちに、文化芸術を体験してもらうことで、文化芸術に対する興味・関心を引き出す。				
日時	平成26年7月23日(水)～8月9日(土)	会場	リーパスプラザ 大ホール		
来場者		参加者	444人		
内容	日程	教室名	対象	定員	申込数
	中止	盆踊り教室	小・中学生	10	0
	8月2日(土) 8月9日(土)	ヒップホップダンス教室	4歳～小3 小3～中3	20	22
	7月25日(金) 8月2日(土)	スポーツダンス教室	小・中学生	20	9
	7月24日(木) 7月25日(金)	バレエ教室	4歳～小3 小4～中3	40	29
	7月31日(木) 2回	フラダンス教室	幼児～高校生	20	27
	7月24日(木) 7月31日(木)	詩吟教室	小・中学生	10	1
	7月25日(金) 7月31日(木)	理科教室	小学校高学年～中学生	12	11
	7月29日(火) 7月30日(水)	童謡教室	小・中学生	10	9
	8月2日(土)	オカリナ教室	小3以上	40	7
	7月24日(木) 7月25日(金)	お琴教室	小・中学生	10	26
	7月24日(木) 8月7日(木)	リトミック教室	1歳～4歳の未就園児の親子	10	11
	7月29日(火) 7月31日(木)	ゆかた教室	小・中学生 (小1～3は付き添い必要)	10	7
	8月5日(火) 8月8日(金)	お茶教室(150円)	小・中学生	40	25
	7月30日(水) 7月31日(木)	パン教室(300円)	小・中学生	20	56
	7月23日(水) 7月24日(木)	家庭科教室(500円)	小学校高学年～中学生	15	14
	7月24日(木) 7月25日(金)	工作教室	小学生	30	32
	7月25日(金) 8月5日(火)	日本伝統文化教室	小・中学生(保護者も可)	10	3
	8月7日(木) 8月8日(金)	絵画教室(500円)	小学生	10	26
	7月30日(水) 7月31日(木)	書道教室	幼稚園年長～小学生	40	30
	7月23日(水) 7月30日(水)	押し花教室(300円)	小学生	10	27
	7月30日(水) 7月31日(木)	囲碁教室	小学生	40	41
	7月29日(火) 7月30日(水)	ブリザード教室(500円)	小学生	20	31
	成果	・参加者にかなり好評で、先生方から「文化芸術に興味を持ってもらえた」との意見が挙がった。 ・キャンセル待ちが出るほどの反響で、参加者、講師共に初めての体験が多く、貴重な機会となった。			
課題	・講座によって申し込み数にばらつきがあり、来年度以降は講座内容を再検討する必要がある。 ・講座申込み日を平日に設けていたが、来年度は土日のいずれかに申込日を設定したい。				
H25年度決算額			H26年予算額		
			212,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会	437,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ「悠久の風」	500,000円
合計			1,594,000		
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす 誇りをおこす		— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす		

# 平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:市民劇団DAICOON)

目的	・心豊かな人材育成、世代間交流、文化芸術振興を図る			
日時	下記のとおり	会場	ワークショップ 定期公演	リーパスプラザ 研修棟 大ホール リーパスプラザ 大ホール
来場者	ミュージカル公演 731人	参加者	演劇ワークショップ 9人	
内容	古賀市内の小学3年生以上から一般成人を対象に舞台芸術の演劇を通して、表現力、創造力、コミュニケーション能力を養うため、演劇ワークショップを行う。また、古賀の歴史、文化、まちづくりを題材にオリジナル脚本、オリジナル曲を作成し、ワークショップ参加者も舞台体験が出来るよう一緒に公演を行う。			
	5月3日(土)~6日(火) 10時~15時	内容 演劇ワークショップ 会場 リーパスプラザ 研修棟 大ホール 参加費 2,500円 参加者 小学生 2人、中学生 1人、大人 1人		
	7月24日(木)~27日(日) 10時~15時 13時~15時	内容 演劇ワークショップ 会場 リーパスプラザ 研修棟 大ホール 参加費 1,500円 (前回参加者が少なかったことを考慮し、参加費の減額を行った) 参加者 小学生 5人(5月のワークショップの参加者とは別)		
	9月28日(日) 午前の部(11時~) 午後の部(15時~)	内容 市民劇団DAICOON第6回公演「悠久の風~私たちの場所~」 会場 リーパスプラザ 大ホール 参加費 1000円(ワークショップ参加者のみ) 入場料 前売り:1,000円(子ども300円) 当日:1,200円(子ども500円) 参加者 731人		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ参加者の数人が新たな団員になった。</li> <li>・子どもたちの成長は素晴らしく、随所に家庭や学校とは異なる表情を見せることができ、保護者の方や学校の先生からも驚きの声が上がっていた。子どもたちの居場所としても劇団の必要性を感じた。</li> <li>・来場者数も年々増加傾向にあり、アンケートでも大変好評である。</li> <li>・アンケートでは、約40%が「はじめて見る」と回答していた。まだまだ新たな来場者を開拓できる見込みがある。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぎりぎりまで支出を抑えているが、報償費や会場費で費用がかさんでしまう。しかし、現在は自主財源の確保が難しい状況にあり、補助金や助成金で賄っている。</li> <li>・団員また、ワークショップの参加者の確保の方法を検討していかなければならない。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
500,000円		500,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会 437,000円 夏休みこども体験教室 212,000円 古賀市第九演奏会 409,000円 演劇ワークショップ「悠久の風」 500,000円
合計			1,594,000	
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす		— 今ある宝を再認識する — 眠った宝を起こす	— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす

# 平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金: 第九を歌う会)

目的	市民劇団DAICOON 自立に伴い、市民公募型補助金へ移行			
日時	12月20日(土) 15時～	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	約600名	参加者	一般参加者 18名 客演 38名	
内容	<p>12月20日(土) 14時30分 開場 15時 開演          曲目: シベリウス作曲「交響詩フィンランディア 合唱付」          ベートーベン作曲「交響曲第九番二短調op.125 合唱付」          指揮: 井上 智子          ソプラノ: 鶴田 智子 アルト: 愛甲 久美 テノール: 澤田 薫 バス: 大野 隆          合唱: 古賀市「第九」合唱団(67名) 演奏: 古賀市民オーケストラ(59名)</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏会も9回目をむかえ、市民に定着した。</li> <li>・レベルの高いソリストを招いたことで、会全体のクオリティの上昇につながった。</li> <li>・観客からの評価は高い。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会形式のため、事務局の入れ替わりが激しく、運営体制が安定しない。</li> <li>・合唱団を公募しているが、なかなか集まらない。</li> <li>・マンネリ化してきている。</li> </ul>			
H25年度決算額		H26年予算額		
500,000円		0		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会 437,000円 夏休みこども体験教室 212,000円 古賀市第九演奏会 409,000円 演劇ワークショップ「悠久の風」 500,000円
合計			1,594,000	
備考	<p>環境づくり 古賀市の個性を起こす 環境づくり</p> <p>— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす</p> <p>— 今ある宝を再認識する</p>			